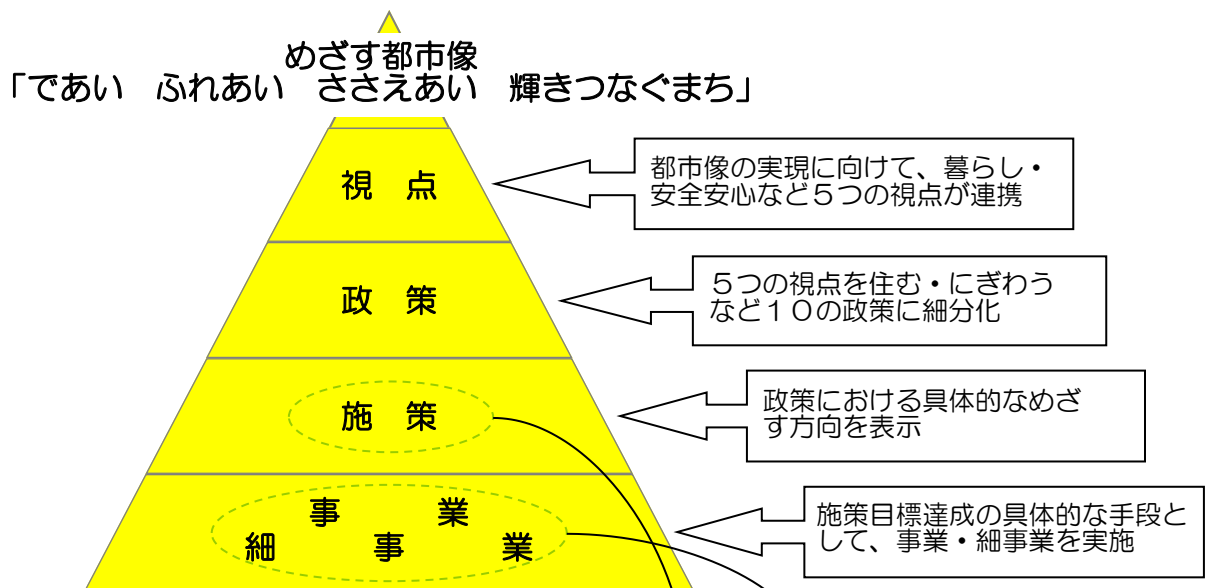


1. 行政サービス成果編の見方について

○第5次川西市総合計画「かわにし 幸せ ものがたり」の前期基本計画政策構造



行政サービス成果表目次

| 視点 | 政策 | 施策 | 施策別 評価額 | 事業 | 事業別 評価額 | 決算 書額 |
|-----|----|---------------|------------|-----------|------------|----------|
| 暮らし | 住む | 良好な都市環境を整備します | | 都市計画管理事業 | | 352 |
| | | | | 都市景観形成事業 | | 354 |
| | | | | 開発行為審査事業 | | 354 |
| | | | | 住宅・宅地調整事業 | | 354 |
| | | | | 地籍調査事業 | | 356 |
| | | | | まちづくり支援事業 | | 358 |
| | | | | 建築指導事業 | | 382 |

※ 事業のうち、行政内部の管理関係事業については、掲載していないものがあります。

○各施策別、事業別行政サービス成果表での職員人件費・公債費の計上について

職員人件費は平均人件費×職員数で算出し、計上しています。

※一般会計における平均人件費：職員8,852千円、再任用職員3,896千円。
平均人件費には、職員共済組合負担金と退職手当組合負担金も含んでいます。

公債費は、元金及び利子を各事業に分類し、計上しています。

○施策別行政サービス成果表の施策評価について

第5次総合計画前期基本計画における施策の達成度を可視化するものとして、各施策に「施策評価指標」を設定し、指標を設定した際の基準値（平成23年度又は平成24年度値）及び各年度の実績値、前期基本計画の最終年度である平成29年度を目標年度とした目標値を表示しています。

目標値及び実績値の推移はグラフで示すとともに、各評価指標を担当する部長が「実績値の傾向分析と目標値達成の見通し」について、関連する事業の成果をはじめ社会情勢の変化などを踏まえながらコメントしています。

これにより、前期基本計画を施策の達成度から評価し、市民目線に立った施策と事業の見直しに繋がっていきます。

施策1 「良好な都市環境を整備します」

評価指標を設定
指標値の分析

【施策評価指標】

| 評価指標 | 基準値 | 実績値 | | | | | 目標値 | トレンド |
|-------------------------|----------------------------------|--------------------|-----|-----|-----|------|------------------------------|------|
| | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | | |
| 1 「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合 | 指標値 (%) 68.1 | 77.7 | | | | 80.0 | <p>「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合</p> | |
| | 定義/方向性 | 市民実感調査より/増やす | | | | | | |
| | 実績値の傾向分析と目標値達成の見通し (記載者 担当部長) | 実績値の傾向は… 達成状況は… | | | | | | |
| | 所管 | 都市整備部 都市計画課 | | | | | | |

○事業別行政サービス成果表の「参画と協働の主な手法」について

平成25年度に各事業で実施した参画と協働の取組について14の手法に分類し、主な手法を3つまで列挙しています。どの手法にもあてはまらない取組がある場合は、その他に分類し、取組の名称を挙げています。

<手法の分類>

- 01.意見提出手続（パブリックコメント）、02.審議会等の付属機関、03.住民説明会の開催
- 04.アンケート、05.意見・提案の募集、06.講座・講習会、07.フォーラム・シンポジウム
- 08.ワークショップ、09.市政モニター、10.共催、実行委員会
- 11.ボランティア・NPO等との連携、12.補助、助成、報償、13.委託、14.指定管理

○事業別行政サービス成果表の事業の自己評価、今後の方向性について

この評価の目的は、評価過程において、事業の課題を掘り起こし、明らかにすることで、次年度以降の業務改善に繋げようとするものです。

自己評価は、各事業を所管する部長が、次の4つの視点を全て考慮して、次年度以降に向けた改善の有無に着目して、三段階で評価しています。

<評価の視点>

- ・妥当性 …… 市民ニーズや施策目的に対して妥当か。また、行政が担う必要があるか。
- ・効率性 …… より少ないコスト（ヒト、物、金、時間）で成果を達成できたか。
- ・有効性 …… 目的達成に向けて、十分な成果はあったか。
- ・参画と協働 …… 参画と協働の取組ができているか、取組の充実や改善ができないか。

<評価の段階>

- ・適正 …… 「4つの視点」全てにおいて適正である。
- ・改善の余地あり …… 改善することで、事業の効果を上げることができる。
- ・改善すべき …… 大幅な改善によって、事業の効果を上げることができる。